

クリスマス会を行ないました



〈二階〉

十二月二十一日クリスマス会を行いました。午前中から職員によるシヨートケーキ作りを始め、スポンジの焼ける香りがとても食欲を誘い、食べるのを利用者様は楽しみにされていました。午後のお茶の時間にクリスマス会がスタートしました。職員によるハンドベルの演奏、時々間違えてしまっても、利用者様は温かい眼差しで聞いて頂き、演奏者も励まされました。次に現れたのが、サンタクロースとトナカイ。ハンドベルを手持ったり腰につけたりし奇妙な動きをしながら演奏する、その姿をみた全員が大爆笑となりとても楽しい時間となりました。最期に美味しいケーキを頂いて和やかにクリスマス会が終わりました。

〈三階〉

世の中はクリスマスムードでいっぱいですが、明治・大正時代のご利用者様には、クリスマスへの馴染みが無い事からご利用者様の希望に添った、食事を提供するという趣旨に変えてみました。

寒い季節なので「あったかい、美味しい物が食べれる事が幸せ」と言うことで、どちらのチームも「あったかい食事」をする事で皆様に喜んで頂く計画をしました。Aチームは「おでん」Bチームは「鍋」をご利用者様と一緒に作りました。おでんは、何を食べたいか、希望を聞きながら具を考え、鍋は、大根やニンジン等をピーラで細く刻くことで手に力が無いご利用者様でも箸に上手に掛かりとても食べやすく好評でした。



〈通所〉

十二月十四〜十六日までの三日間、デイケアでは、恒例のクリスマス会を行ないました。

今年は、利用者さんが早くからクリスマス壁飾り用のパーツをたくさん縫い上げて作って下さり、それらを組み合わせ、かわいらしい壁飾りができあがりしました。各家庭にお持ち帰りいただき、それぞれ飾っていただきました。

クリスマスボランテイアとして、松川からティアラの皆さんがクリスマスソングを中心に演奏を披露してくださったり、毎年恒例で、Oh Happy Voiceのみなさんによるゴスペル、そして高松保育園長さんたちにより歌や交流を行いました。みなさんからたくさん元気をもらって、とても幸せな気持ちになりました。



新任職員紹介



栄養管理係(調理員)

玉置愛花

一月四日より、栄養管理係でお世話になっていきます。玉置愛花です。
不慣れな事ばかりで、みなさんにご迷惑をかけておりますが、少しでも早く仕事を覚えて働きたいと思っております。よろしくお願い致します。

平成29年3月・4月の異動一覧

職種	氏名	旧所属部署	配属先
看護師	佐々木麻里	3階Aチーム	→ 2階Aチーム
看護師	松島 由衣	2階Aチーム	→ 3階Aチーム
介護員	岩下 りか	3階Bチーム	→ 通所
介護員	池本美千恵	3階Aチーム	→ 2階Aチーム
介護員	村松 珠代	3階Bチーム	→ 3階Aチーム
介護員	杉山めぐみ	3階Aチーム	→ 3階Bチーム
介護員	奥田 幸代	2階Aチーム	→ 3階Aチーム
介護員	中幡 香世	2階Aチーム	→ 3階Bチーム
介護員	上條あゆみ	2階Bチーム	→ 3階Aチーム

節分

おには外へ ぶくは内へ

二月三日節分の日に二階Aチームでは豆まきならぬ豆まき「つこ」をしました。

大きなお面の赤鬼、青鬼に向けて玉を投げつけ、「鬼は外へ福は内へ」それぞれの思いを鬼に向けて大きな声で子供のころを思い出したのかみんな身を乗り出し投げつけました。この鬼は怖くないなという声もありましたが、どんな鬼を追い払いたい?と聞くと「病気の鬼」「痛いところを治る鬼」「怒る鬼」なんていう方もいました。そして中には職員に向けて投げようとして「見つかつたあ」と笑う姿もあり、みんなで笑いやかな楽しい時間になりました。カメラを向け鬼のポーズというとみんな指や玉で角を作り、お茶目な利用者様の笑顔に癒されました。ゆうゆうのご利用者様、ご家族様職員が一年健康で幸せに過ごせますように。



市役所壮年部「獅子舞」

二月三日に、恒例となりました市役所壮年部による獅子舞がゆうゆうに来てくださいました。利用者の皆さんは毎年とても楽しみにしています。今年は見学の隊形をコの字に変えて、獅子が利用者の目の前で舞えるようにしました。目の前を勢いよく舞う迫力満点の獅子に歓声が湧き起りました。

演目は、東野大獅子。長い眠りから目を覚ます場面。まだ眠そうな獅子がだんだんと目を覚まし、だんだんと動き出して、最後には勇ましく舞うお獅子は、まるで生きているかのようでした。終わりに、今年も健康でありますようにと、お獅子のお鼻を触らせてもらいました。



今月のボランティアさん

彩書(さいしょ)

通所では、昨年九月と今年の一月に、宮島先生にお越しいただき、「彩書」をご指導いただきました。毛筆で先生のお手本を見たり、自分の好きな言葉を手紙に書きました。そしてそこに、先生が色彩鮮やかに、その字の周りに絵や文字を描いて仕上げてくださいました。

一月には書き初めということで、新年にふさわしいおめでたい言葉を書きました。「私は字はダメで書けん」とおっしゃっていた利用者さんも、先生が書き加えてくださると、それはもうひとつの芸術作品となりました。

作品はデイルームに展示させていただき、そのあとは各家庭に持ち帰りました。おうちの方も、「こんなのが書けたの?」と素晴らしい出来栄えにびっくりされていました。思い出に残る作品ができました。



ワンポイントアドバイス

「在宅医療・介護連携シートの活用」

南信州広域連合が事務局となって「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」が設置され「退院支援から退院調整ルール」について検討した結果新しく「連携シート」「一括同意書」を作成し四月より試行することになりました。

【連携シート】

①それぞれの病院やケアマネや施設が使っていた患者基本情報提供書を統一した書式にして連携をより密に効率よく運用できるようにするものです。

②連携シートは転院や介護保険の施設やサービス利用時に病院からおくられるもので、まずは医療ニーズの高い要介護度四・五相当の方から導入します。

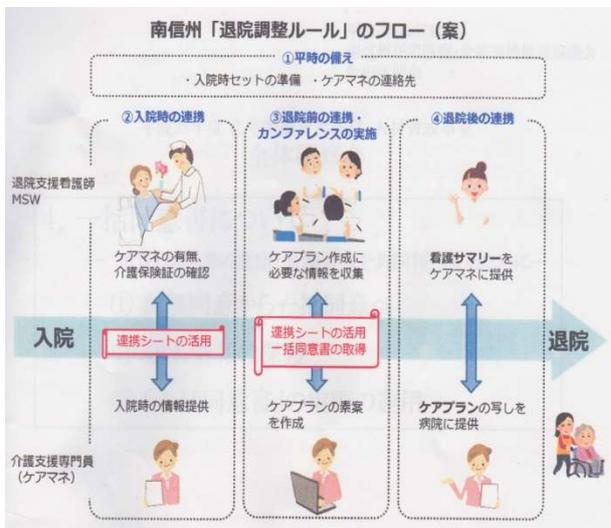
③入院時にもケアマネジャーから連携シートを使って病院に情報を提供して活用されます。

【一括同意書】

①情報共有するには同意を取って行う事が必要となり、個人情報等を第三者に知られない様を守る事が必要となります。そのため退院時に【連携シート】を使ってチーム内で共同利用するために【一括同意書】の書式にて一括同意を取ることになります。

まずは四月から試行を開始して、今後さらに検討がされます。

病院・施設・事業所との情報共有がより迅速に効率よく連携されることで患者、利用者の負担が軽減され、さらによりよいサービスが受けられるように改善されることを期待しましょう。



〈編集後記〉

ゆうゆうでは、毎年、ご利用者様の満足度調査を実施しており、皆様からの貴重なご意見を業務に反映させる取組みを実施しています。今年も1月中旬から下旬にかけて、ご利用者ご家族の方のご協力により実施することができ、感謝申し上げます。

現在集計中ですが、結果がまとも次第、正面玄関へ掲示しますのでご覧ください。(欠)